

個票1：提案品目（環境負荷低減に関する特性）

太枠の中のみご記入ください

構成要素： 目的物 / 投入物（ 資材 / 建設機械 / 工法 ） / 制度・仕組み
 具体的施策または物品等：
 比較対象：

環境負荷低減に対する評価	可・要検討・不可
環境負荷低減以外に対する評価	可・要検討・不可
総合評価	可・要検討・不可

環境負荷低減の項目	環境負荷低減内容と程度	環境負荷増大が懸念される内容と程度	環境負荷の段階	評価
地球温暖化影響物質の排出 (地球温暖化対策やエネルギー消費量に関する特性)			1. 資材段階 2. 建設段階 3. 使用段階 4. 解体段階 5. 処理・処分段階	
廃棄物の発生・処理処分 (廃棄物処分量に関する特性(リサイクル関係))			1. 資材段階 2. 建設段階 3. 使用段階 4. 解体段階 5. 処理・処分段階	
生態系への影響 (生物多様性の保全に関する特性、生態系破壊への配慮)			1. 資材段階 2. 建設段階 3. 使用段階 4. 解体段階 5. 処理・処分段階	
有害物質等の使用・排出 (有害化学物質に関する特性)			1. 資材段階 2. 建設段階 3. 使用段階 4. 解体段階 5. 処理・処分段階	
資源の消費 (天然資源、資源の枯渇への配慮)			1. 資材段階 2. 建設段階 3. 使用段階 4. 解体段階 5. 処理・処分段階	
オゾン層破壊物質の排出			1. 資材段階 2. 建設段階 3. 使用段階 4. 解体段階 5. 処理・処分段階	

環境負荷低減の項目	環境負荷低減内容と程度	環境負荷増大が懸念される内容と程度	環境負荷の段階	評価
大気汚染物質の排出 (酸性雨に関するものを含む)			1. 資材段階 2. 建設段階 3. 使用段階 4. 解体段階 5. 処理・処分段階	
水質汚濁物質の排出 (海洋汚染に関するものを含む)			1. 資材段階 2. 建設段階 3. 使用段階 4. 解体段階 5. 処理・処分段階	
			1. 資材段階 2. 建設段階 3. 使用段階 4. 解体段階 5. 処理・処分段階	
			1. 資材段階 2. 建設段階 3. 使用段階 4. 解体段階 5. 処理・処分段階	
			1. 資材段階 2. 建設段階 3. 使用段階 4. 解体段階 5. 処理・処分段階	
			1. 資材段階 2. 建設段階 3. 使用段階 4. 解体段階 5. 処理・処分段階	
			1. 資材段階 2. 建設段階 3. 使用段階 4. 解体段階 5. 処理・処分段階	

個票2：提案品目（環境負荷低減以外の特性）

太枠の中のみご記入ください

構成要素： 目的物 / 投入物（ 資材 / 建設機械 / 工法 ） / 制度・仕組み
具体的施策または物品等：
比較対象：

【環境負荷低減以外の特性】

項目	内容	評価
品質、関連品質基準		
目的物の性能を確保する条件		
コスト		
普及状況、根拠資料		
入手可能性		
使用実績、根拠資料		
その他		

提案品目の記入要領

(別紙 3 - 1・2) 個票 1 提案品目 (環境負荷低減に関する特性)

1. 記入範囲について

- ・太枠内のみご記入下さい。

2. 構成要素について

- ・公共工事の構成要素を以下の 5 つに区分しています。該当するものに をつけて下さい。

目的物	: 目的物全体として環境負荷低減効果が認められる場合 (例) 多自然型川づくり
投入物 (資材)	: 工事への投入物のうち資材について環境負荷低減効果が認められる場合 (例) 高炉セメント
投入物 (建設機械)	: 工事への投入物のうち建設機械について環境負荷低減効果が認められる場合 (例) 排出ガス対策型建設機械
投入物 (工法)	: 工事への投入物のうち工法について環境負荷低減効果が認められる場合 (例) 環境保全型の法面安定工法の採用
制度・仕組み	: 入札・契約に関する制度等によって環境負荷低減効果が認められる場合 (例) ISO 14001 を適用したモデル工事の実施

3. 具体的施策または物品等について

- ・当該施策又は物品等の内容について、資材名、建設機械名等を具体的に記述して下さい。
(記入例: フライアッシュセメントの利用)

4. 比較対象について

- ・当該施策 (又は物品等) と対になる標準施策 (普及している資材等) を記入して下さい。
(記入例: 普通ポルトランドセメント)

5. 環境負荷の項目について

- ・ ~ の項目については、必ずご記入下さい。(但し、 ~ の項目については、該当する内容が無い場合はその旨を記載して下さい。)
- ・以降の空欄には、該当する環境負荷の項目を、別表 - 1 を参考に加えて下さい。

6. 環境負荷低減内容と程度について

- ・環境負荷項目ごとに、比較対象に対して環境負荷低減内容と程度を記入して下さい。比較対象と同程度の場合はその旨ご記入下さい。
(記入例: セメント主原料である石灰石由来の二酸化炭素排出量を削減。 エネルギー消費量は、比較対象と同程度)

7. 環境負荷増大が懸念される内容と程度について

- ・環境負荷項目ごとに、比較対象に対して環境負荷増大の懸念事項がある場合はその内容と程度を必ず記入して下さい。比較対象と同程度の場合はその旨ご記入下さい。
(記入例: 一定条件下で有害化学物質溶出の懸念。ただし、比較対象と同程度)

8 . 環境負荷の段階

- ・環境負荷の低減又は増大が見られる段階がどの段階に該当するか をつけて下さい。
- ・各段階の内容は以下のとおりです。

「資材段階」：資源の開発から建設材料および住設機器の製造に至るまで

「建設段階」：新規工事にあたっては企画設計、土地開発、建替工事にあつては解体から始まり、その後の設計および竣工に至るまで

「使用段階」：使用を開始してから後の維持・保全および改修・補修を経て目的物としての使命を終えるまで

「解体段階」：解体され、その解体材が建設副産物あるいは建設系廃棄物として排出されるまで

「処理・処分段階」：新築、改修・補修（リフォーム）および解体工事により発生した建設副産物あるいは建設系廃棄物が、リサイクルや回収処分されるまで

別表 - 1 環境負荷項目の例

地域影響	大気汚染
	水質汚染
	土壌汚染
	騒音
	振動
	悪臭
	地盤沈下
	廃棄物
	低周波騒音
	電磁波障害
	電波障害
	日照権阻害
	風害
	光害
	景観
	交通障害
	都市気候
	火災
地球環境	生態系破壊
	地球温暖化
	オゾン層破壊
	天然資源
	酸性雨
	資源の枯渇
	海洋汚染
	エネルギー消費
職場環境	粉塵
	作業環境

資料：「建設業の環境マネジメントシステム Q & A」清水裕一、平形威雄著 p 183 より作成

(別紙4) 個票2 提案品目(環境負荷低減以外の特性)

1. 記入範囲について

- ・太枠内のみご記入下さい。

2. 構成要素について

- ・公共工事の構成要素を以下の5つに区分しています。該当するものに をつけて下さい。

目的物 : 目的物全体として環境負荷低減効果が認められる場合
(例) 多自然型川づくり

投入物(資材) : 工事への投入物のうち資材について環境負荷低減効果が認められる場合(例) 高炉セメント

投入物(建設機械) : 工事への投入物のうち建設機械について環境負荷低減効果が認められる場合(例) 排出ガス対策型建設機械

投入物(工法) : 工事への投入物のうち工法について環境負荷低減効果が認められる場合(例) 環境保全型の法面安定工法の採用

制度・仕組み : 入札・契約に関する制度等によって環境負荷低減効果が認められる場合(例) ISO 14001を適用したモデル工事の実施

3. 具体的施策または物品等について

- ・当該施策又は物品等の内容について、資材名、建設機械名等を具体的に記述して下さい。
(記入例: フライアッシュセメントの利用)

4. 比較対象について

- ・当該施策(又は物品等)と対になる標準施策(普及している資材等)を記入して下さい。
(記入例: 普通ポルトランドセメント)

5. 品質、関連品質基準について

(内容) ・比較対象に対して、品質等の比較を記入して下さい。

・基準があればその名称を記入して下さい。

(評価) ・比較対象との優劣を簡潔に記入して下さい。

6. 目的物の性能を確保する条件

(内容) ・該当物品等が十分性能を確認できる条件(使用可能な条件など)を記入して下さい。

(評価) ・比較対象との優劣を簡潔に記入して下さい。

7. コスト

(内容) ・比較対象に対して、コストの比較を記入して下さい。

(評価) ・比較対象との優劣を簡潔に記入して下さい。

8. 普及状況、根拠資料

(内容) ・数量、シェア等を記入して下さい。

・根拠資料があればその名称を記入して下さい。

(評価) ・比較対象との優劣を簡潔に記入して下さい。

9．入手可能性

- (内容) ・地域性、季節変動等、当該物品の入手可能性に関わる事項を記入して下さい。
- (評価) ・比較対象との優劣を簡潔に記入して下さい。

10．使用実績、根拠資料

- (内容) ・使用実績をできるだけ詳細に記入して下さい。
 - ・根拠の資料があれば、その名称を記入して下さい。
- (評価) ・比較対象との優劣を簡潔に記入して下さい。

11．その他

- (内容) ・その他の特性があれば記入して下さい。
- (評価) ・比較対象との優劣を簡潔に記入して下さい。

参考資料

提案品目及び比較対象品目等について、品質データや使用実績などの統計資料などがございましたら、資料一覧リストを添付の上、同封してください。参考にさせていただきます。